

(様式第7号)

令和2年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市商工観光センター		
指定管理者	舞鶴商工会議所		
設置目的	商工業、観光等地域産業の振興を図り、もって地域の活性化に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	産業振興部産業創造室産業創造・雇用促進課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和2年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	34,727	14,985			
利用料金(円)	7,475,474	20,218,773			
指定管理料(円)	61,200,000	63,377,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設利用人数	45,000人	40,700人	14,985人	37%
施設利用件数	1,800件	1,670件	1,401件	84%
交流事業参加人数	—	3,200人	0人	0%
観光ガイド養成講座受講者数	—	60人	36人	60%
パソコン講座受講者数	—	80人	39人	49%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	20,218,773	人件費	12,877,635
指定管理料	63,377,000	維持管理費	59,114,046
事業収入	525,000	事業費	1,608,897
その他	6,207,967	その他	4,774,595
合計	90,328,740	合計	78,375,173
差額			11,953,567

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	年間を通じて、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けたが、そのような中でも多くの方が利用できるような様々な努力が見られた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	◎	「観光情報コーナーi-port」ではパンフレット類を充実、地域産業の紹介や観光資源をPRする写真の展示等、観光・商工業の発展を見据えた活動が実施された。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	◎	国による新型コロナウイルスの影響を受けた事業者向け給付金の申請サポートセンターが設置され、困っている事業者の支援に協力していた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	緊急事態宣言の発令により計画していた事業を中止せざるを得なくなった。実施可能な事業については参加人数を減らす等の工夫をして取り組めた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	◎	新型コロナウイルスの影響により利用者が減る中、国の給付金申請サポートセンターが設置され、多くの方に利用いただけるよう協力していた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	満足度アンケートによると、「良い」「やや良い」の評価が多くみられ職員の対応、施設管理ともに概ね好評価。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	◎	施設の満足度アンケートや各事業の実施後に意見を聴取し、来年度事業を計画に生かす等、意見・要望の把握に努められた。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	◎	緊急事態宣言の発令によるイベント中止に伴うキャンセル料の有無等丁寧な説明の結果、ご理解いただくことができました。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	節電や照明のLED機器への交換など、電気使用量の削減に努めるとともに、水道光熱費については使用状況を精査し経費の節減に努められた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	内容を精査し、経費の節減に努められた。
収入増加のための取組が行われたか	◎	申請サポート会場となることで、長期間にわたる継続したホールの利用があり利用料が前年度比270%増額した。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	適切な人員配置に努められた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適切に行われている。
施設の平等な利用が行われたか	○	平等な利用が行われている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われている。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に処理されている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	センター管理業務仕様書に基づき、適正に管理されている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	避難訓練を実施されるとともに、館内での犯罪や事故発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、「危機管理マニュアル」を作成されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に管理されている。
(5) その他コメント		
サービス向上		センター利用者の「安全・安心」を職員ひとりひとりが意識することで、明るく親しみやすい施設づくりができています。小中学生の作品展示、大学入試会場となる等、幅広い年齢の方にも施設を利用いただく機会を作り利用者の増加に努めた。 施設の維持管理に関しても、常に各職員が美化意識の向上を図ることで美しい環境の維持に努めるとともに、感染拡大予防ガイドラインに沿った感染防止対策を実施することで安心して施設の利用ができるよう感染防止対策に取り組まれている。
経費削減		節電や照明のLED機器への交換、電気料金の契約見直し等、電気使用量（ランニングコスト）の削減に努めるとともに、委託費等についても内容を精査し、経費の節減に努められた。
施設の維持・管理		経年劣化による不良箇所が散見されたが、早急に対応が必要なものを精査し、修繕を行った。雨漏りや駐車場での軽微なトラブルについても係員による迅速な対応で利用者、来館者への印象を損なわないよう努めている。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.33点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>国の持続化給付金申請サポートセンター等の設置による収益増については大いに評価できるが、1階の活用がなされなかった。 本来なら収支は大きな赤字であり、国の持続化給付金申請サポートセンター等の設置に救われたように思う。 今後、国の持続化給付金のサポートセンター等の設置等により突発的に発生するような収益については、上手に活用してほしい。</p>	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	年度	年度	年度	平均
3.16点				3.16点